

# 令和8年度 八王子市立城山中学校 学校経営計画

校長 木村 孝治

## 1 はじめに

学校は、保護者、地域社会の信託を受け、心豊かに逞しく生きる生徒を「教え」「育てる」責務がある。学習指導要領の目指すところは「生きる力」を育むことであり、学校教育の目的は子どもたちが「社会の中でよりよく生きる」ための力を養うことにある。一人一人の子供たちが将来に夢や希望を抱き、変化の激しいこれからの時代を逞しく生きていくための力（知・徳・体）を身に付けさせることが学校の使命である。

八王子市の基本原則『義務教育終了段階で一定水準以上の知識・技能を育むこと』

『コミュニティの中で生きていく力を育むこと』

## 2 教育目標

憲法・教育基本法を基調とし、広い視野に立って、進んで自己を開拓し、向上し続ける人間を育成することを目指して、次の目標を設定する。

- 学ぶ・・・主体的に学ぶ生徒
- 鍛える・・・自ら鍛える生徒
- 思いやる・・・自己や他を思いやる生徒

## 3 教育目標が目指す学校像

### (1) 目指す学校像

- 一人一人の生徒を大切にし、鍛え、可能性を伸ばす学校
- 心を豊かに育み、規範意識をもって社会に貢献する生徒を育てる学校
- 生徒同士、生徒と教職員が相互に信頼する温かい学校
- 小中一貫教育及び地域と連携した教育を推進する学校

### (2) 目指す生徒像

- 自ら学び、考え、何事に対しても主体的に取り組む生徒
- 豊かな心を持ち、決まりやマナーを守り社会のために役立とうとする生徒
- 学校行事、生徒会活動、部活動などを通して心身を鍛え、最後までやりぬく生徒
- 小学校および地域との連携・協力ができる生徒

### (3) 目指す教師像

- 生徒とのコミュニケーションをしっかりと取り、信頼関係を構築できる教師
- 生徒の良さや能力を引き出し、学力を高める指導をする教師（授業力の向上）
- 生徒の心の豊かさを育み、規範意識・人や社会への貢献の大切さを教え、実行させる教師
- 生徒の心身を鍛えるための指導法の工夫や努力を惜しまない教師（校内研修、OJTの活用）
- 生徒のために、学校内外で連携・協力して教育活動を行う教師

## 4 中期経営目標

- (1) 学力向上（個別最適な学びと学び方、協働学習のバランス）
- (2) 豊かな人間性の育成（命を感じ、伝え合い生きる喜びがあふれる教育の実践）
- (3) 地域がステージとなる学びの実現

## 5 短期経営目標

- (1) 言語活動・話し合い活動の充実
- (2) ICT、タブレット有効活用の充実
- (3) 地域活動への取組（地域とのつながりを大切に）

## 6 教育活動の基本

- |                                   |                      |
|-----------------------------------|----------------------|
| (1) 学ぶ力を育成し、個々の能力に応じた学力の定着を図る     | 【 学習 】               |
| (2) 思いやりと豊かな心を育む道德教育の実践           | 【 道德 】               |
| (3) 規範意識と生活指導の充実を図る               | 【 生活 】               |
| (4) 自立心を育むキャリア教育の推進               | 【 進路 】               |
| (5) 感動体験を共感できる行事の実施               | 【 行事 】               |
| (6) 個性や能力を伸ばす生徒会・学級活動・部活動の推進      | 【 生徒会・学級・部活 】        |
| (7) 小中一貫教育による、9年間連続した教育の推進        | 【 連携 】               |
| (8) ICT活用教育の推進                    | 【 ICT活用推進 】          |
| (9) 特別支援教育の充実                     | 【 特別支援教育 】           |
| (10) はちおうじっ子ミニマム、定期考査前、長期休業中補習の実施 | 【 学力定着プロジェクト 】       |
| (11) 生徒主体で地域と繋がる                  | 【 クリーン活動、城山フェスティバル 】 |
| (12) 総合的な学習の時間を活用した探究学習の推進        | 【 課題解決能力育成 】         |

## 7 学校経営の基本方針

「学ぶ」ことを身に付けることは、生涯にわたり大切である。学習規律を徹底し、主体的な学びとなるよう教育育てていく。また、人格の完成を目指し、人としての在り方を教えていくことは時代を超えた大切なものである。この二つを基本方針の視点とする。

- (1) 校長の経営方針に基づく組織的な学校運営の推進
- (2) 学習指導要領に基づく適正な教育課程の編成、実施及び指導と評価の一体化
- (3) 小中一貫教育として学力向上及び豊かな心の育成（城山小と本校）
- (4) 特色ある学校づくりと開かれた学校づくりの推進
- (5) 愛校心の育成と所属感・連帯感の涵養（学校・地域を大切に作る心の育成）
- (6) 学校事故の防止と安全・安心対策の推進【対応は「迅速・的確・誠実」に】
- (7) 特別支援教育の具体的な実施（校内委員会・副籍制度・特別支援教室の活用）
- (8) 保護者・地域・関係諸機関との連携・協力による教育活動の推進
- (9) 教育環境の整備とUD化、校内美化の推進
- (10) 学級活動、生徒会活動や部活動の指導を通じた個性の伸張と健全育成
- (11) いじめを許さない環境、校内体制の確立（月1回の生活アンケートの実施）
- (12) 誰ともつながることのできない不登校生徒0を目指し、対応を全教職員で実施（週1回校内委員会、不登校対策の充実）
- (13) 若手教員育成とOJTの充実
- (14) 生徒の心の成長を目指す道德教育の充実（考えを深め議論する道德）

## 8 学校経営の重点目標

**生徒の笑顔があふれ、小さな一步を支える学校**

教育活動の基本により、「【もっと良い学校】づくり」を推進し、教育目標が目指す生徒像、教師像、学校像の具現化を目指す。

- 生徒が安心して生活できる学校
  - ・あいさつが聞こえる学校
  - ・思いやりと心ある言葉遣いができる学校
  - ・環境が美しい学校
- 生徒の自主性・主体性を育む学校
  - ・自ら学ぶ力の育成
  - ・自律力・自治能力の育成
  - ・生徒会活動の充実
- 生徒が生き生きと学び、活動する学校
  - ・生徒が主体的に学ぶ学校
  - ・活力と規律ある学校
  - ・すべての生徒が登校できる学校
- 教職員が明るく生き生きとして、お互いに切磋琢磨しながら教育活動に取り組める学校
- 業務の効率化、外部人材の活用等により働き方改革を推進する学校